

テーマ  
Theme

福祉学習

学校・園名  
School name多賀町立多賀中学校  
(3年生)講師等  
Lecturer etc.一般社団法人  
滋賀県介護福祉士会実施日  
Date

平成26年8月1日

教科等  
Subject etc.

総合的な学習の時間

授業  
Class

今日の授業では、介護福祉士である講師のお話を聞きながら、実際に体が不自由になる体験などを行い、色々感じたり福祉について考えたりしました。初めに講師から『福祉』って何でしょう?と聞かれ、考えました。生徒たちの答えは「介護」や「体が不自由な人を助けること」でした。講師からは「『ふくし』とは、ふつうのくらしとあわせのことです」というお話もありました。続いて、ビニール手袋2枚を重ねた上に軍手をして、ペットボトルのふたを開ける、本のページをめくる、また、耳の聞こえにくさを体験したり、目隠しをしながら歩いたりするなどの高齢者が感じている体の不自由さを疑似体験しました。自分が日頃ふつうだと思って当たり前に行っていることも人によって違いがあり、人によって日々のくらしの中で感じるしあわせも違うことが分かりました。体が不自由な人のことを考えたりすることは、結果、自分たちが安心して暮らせる世の中をつくる一人となり、そのことが福祉に関わることにもなります。今日の体験は、将来生徒たち自身にも起こりえることです。講師の方は、「どうしたらお互いが支えられるのか、みなさん自身が今日の体験をもとに考えて行動してほしいです。」とまとめておられました。

感想

Impression

## 生徒の様子 Impression from Children

- 自分のおじいさんへの見方が変わりました。
- 自分から、人を助けられるようになりたいです。
- 困っている人がいたら、声をかけていきたいです。
- 耳や目、手が不自由になるって大変なんだと思いました。

## 学校より Impression from school

事前の準備物が、何に使われるか知っている良かったなあと思いました。実際に目や耳、手が不自由な体験をさせていただいて、良かったです。

## 講師より Impression from lecturer

中学3年生という多感な思春期の生徒さんたちでしたが、最後までしっかりと聞き、体験してもらうことができました。感想文の中には、「人は最後まで可能性がある。」という言葉がしっかりと響いたこと、「手を差し伸べることで助かる人がいて、自分にもできることがあることが分かった。」などの気づきをもってくれたことが分かりました。

福祉は、高齢者のためだけでなく、障害のある方や自分たちにも身近なことであることなど、色々なことに気づいていただけた授業になったと思います。